

## 第4章 地球温暖化対策実行計画の進捗状況

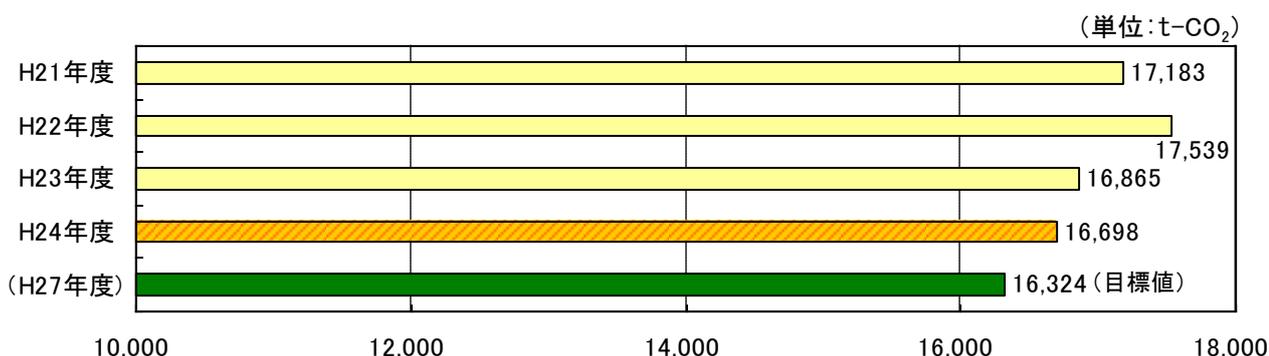
### 1 市の施設における温室効果ガス排出量

ここでは、島田市地球温暖化対策実行計画に基づく平成24年度の実績値を報告します。

#### 1-1 進捗状況

- 平成24年度に市役所の事務・事業全体から排出された温室効果ガス量は16,698 t-CO<sub>2</sub>で、基準年度と比較して△2.8%、485 t-CO<sub>2</sub>の減少となりました。目標年に向けて順調に削減が進んでいるといえます。

項目	基準年 (H21年度)	平成24年度	目標年(H27年度) 《目標値》
		増減率 (対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
温室効果ガス総排出量	17,183 t-CO <sub>2</sub> /年	16,698t-CO <sub>2</sub> /年	16,324 t-CO <sub>2</sub> /年
		△ 2.8%	△ 5.0%



#### 1-2 排出量の内訳

- 排出された温室効果ガスの内訳をみると、二酸化炭素が全体の約98.8%を占めています。

(単位:t-CO<sub>2</sub>)

項目	基準年 (H21年度)	平成24年度	増減率
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	16,914	16,490	△ 2.5%
メタン (CH <sub>4</sub> )	34	31	△ 11.1%
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	229	173	△ 24.3%
ハイドロフルオロカーボン (HFCs)	6	4	△ 27.8%
パーフルオロカーボン (PFCs)	0	0	-
六ふつ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	0	0	-
温室効果ガス合計	17,183	16,698	△ 2.8%

## 2 取組の状況及び評価

### 2-1 施設におけるエネルギー使用状況

- ・ 電力使用量のうち、8,953,003kwh（全体の30.9%）は田代環境プラザでの自家発電です。
- ・ A重油の主な使用施設は、島田市民病院で622,106L、全体の使用量の65.1%を占めています。
- ・ 灯油の主な使用施設は、川根温泉及び田代環境プラザで、この2施設で369,241L、全体の使用量の76.1%を占めています。
- ・ 都市ガスについては、他のエネルギーに比べて温暖化係数が比較的低いため、エネルギー転換の受け皿として目標値を定めていません。
- ・ LPガスの主な使用施設は、田代の郷温泉で34,530m<sup>3</sup>、全体の使用量の30.7%を占めています。

項 目	基準年(H21年度)	平成24年度	目標年(H27年度) 《目標値》
		増減率(対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
電力	28,730,652kWh	28,939,236kWh 0.7%	27,294,120kWh △ 5.0%
A重油	1,028,202L	955,360L △ 7.1%	976,792L △ 5.0%
灯油	538,604L	485,270L △ 9.9%	511,674L △ 5.0%
都市ガス	166,526m <sup>3</sup>	162,286m <sup>3</sup> △ 2.5%	目標値なし -
LPガス	139,127m <sup>3</sup>	112,441m <sup>3</sup> △ 19.2%	132,171m <sup>3</sup> △ 5.0%

### 2-2 自動車におけるエネルギー使用状況

- ・ 公用車の適正な運用管理に努め、エコドライブの実施、低公害車への切り換えを推進します。
- ・ 職員によるノーカーデーを実施し、自動車利用抑制の意識付けを図ります。

項 目	基準年(H21年度)	平成24年度	目標年(H27年度) 《目標値》
		増減率(対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
ガソリン	125,176L	131,363L 4.9%	118,918L △ 5.0%
軽 油	166,477L	142,256L △ 14.5%	158,154L △ 5.0%

項 目	H21年度	平成24年度	目標年(H27年度) 《目標値》
ノーカーデー実施率	45.4%	47.0%	-

### 2-3 水の有効利用と健全な水循環の形成

- 水の使用を適正に管理し、節水に努めていきます。
- 漏水の確認等、管理点検を定期的に行います。

項目	基準年(H21年度)	平成24年度	目標年(H27年度) 《目標値》
		増減率(対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
水使用量	493,229m <sup>3</sup>	388,427m <sup>3</sup>	468,568m <sup>3</sup>
		△ 21.2%	△ 5.0%

### 2-4 事務用品の購入・使用における環境配慮

- OA用紙については、使用量の削減を図るとともに、総合評価値による評価を行い、環境に配慮した製品の購入を目指します。
- 環境負荷のできるだけ少ない事務用品等を適正な量だけ購入する（グリーン購入）ことにより、資源の有効利用を図ります。また、行政が率先してグリーン購入を推進することにより、市域全体の環境にやさしい物品の市場拡大を図ります。

項目	基準年(H21年度)	平成24年度	目標年(H27年度) 《目標値》
		増減率(対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
OA用紙使用量(A4版換算) 【総務課集中管理分】	5,675,908枚	5,796,761枚	5,000,000枚以下
		2.1%	△ 12.0%

項目	基準年(H21年度)	平成24年度	目標年(H27年度) 《目標値》
グリーン購入率	59%	98.8%	100%

### 2-5 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

- 廃棄物の発生を抑制し、リユース・リサイクルや適正な処理を推進することにより、資源の有効利用を図り、外部への環境負荷の排出を低減します。

項目	基準年(H21年度)	平成24年度	目標年(H27年度) 《目標値》
		増減率(対H21年度比)	目標削減率 (対H21年度比)
燃えるごみ量	585,565kg	634,147kg	527,009kg
		8.3%	△ 10%
燃えないごみ量	23,765kg	18,277kg	-
		△ 23.1%	-

## 2-6 化学物質等の適正管理

- ・ 特定、代替フロン封入機器を適正に管理することにより、温室効果ガスの排出量の削減を図ります。
- ・ PCB、化学薬品についても適正な管理を行っています。

項 目	基準年(H21年度)	平成24年度	目標年(H27年度) 《目標値》
特定フロン封入機器 廃棄時の適正回収率	100%	100%	100%
代替フロン封入機器 廃棄時の適正回収率	100%	100%	100%

## 2-7 公共事業に伴う環境負荷の低減

- ・ 公共事業が環境に与える影響を少しでも低減するよう、建設廃材の再資源化率の向上を目標とします。
- ・ 公共事業における環境負荷の低減を図るために、「公共事業環境配慮要領」に基づき、一定規模以上の事業について自己チェックを行っています。

項 目	基準年(H21年度)	平成24年度	目標年(H27年度) 《目標値》
建設廃材の再資源化率	72%	66.2%	95%

### 3 島田市の温室効果ガス排出量（参考）

ここでは島田市域における温室効果ガス排出量について報告します。（静岡県地球温暖化防止活動推進センター委託による推計・算定）

#### 3-1 島田市における温室効果ガス排出量の推移

- ・島田市における平成22年度の温室効果ガス排出量は130万9千t-CO<sub>2</sub>（全国の0.1%）で、前年度と比較すると0.4%の増加となりました。なお、全国では、前年度と比べて4.2%の増加となっています。
- ・温室効果ガスの種類別では、二酸化炭素が全体の約97%と大半を占めています。

（単位：千t-CO<sub>2</sub>）

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比 増減率
二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）	1,283.3	1,242.9	1,252.1	1261.5	0.7%
メタン（CH <sub>4</sub> ）	13.4	13.5	14.0	13.6	△ 2.8%
一酸化二窒素（N <sub>2</sub> O）	21.6	20.9	20.9	19.3	△ 7.4%
ハイドロフルオロカーボン（HFCs）	8.6	9.4	8.4	6.2	△ 26.6%
パーフルオロカーボン（PFCs）	0.0	0.0	0.0	0.0	-
六ふつ化硫黄（SF <sub>6</sub> ）	0.4	0.4	0.3	0.3	△ 10.7%
合計	1,327.4	1,287.1	1,295.7	1300.9	0.4%
<比較> 全国	1,364,856.3	1,280,619.9	1,209,213.2	1,257,981.9	4.2%

※ 端数処理により合計・増減率と一致しないことがあります。

#### 3-2 島田市における部門別二酸化炭素排出量の推移

- ・島田市における二酸化炭素排出量の約6割が産業部門から排出されています。平成22年度は、本市の自動車保有台数が前年度と比べて9.3%増加したことにより、運輸部門からの排出量が前年度より6.0%増加しました。

（単位：千t-CO<sub>2</sub>）

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比 増減率
産業	801.4	774.6	776.0	765.8	△ 1.3%
運輸	265.0	258.0	254.7	270.0	6.0%
民生・家庭	144.9	147.0	145.9	148.4	1.7%
民生・業務	45.2	51.4	57.9	59.9	3.5%
廃棄物処理	26.8	11.8	17.6	17.3	△ 1.7%
合計	1,283.3	1,242.9	1,252.1	1,261.5	0.7%
<比較> 全国	1,296,306.8	1,213,252.9	1,144,569.4	1,191,947.4	4.4%

※項目について

- 産業・・・製造業や建設業、加工業など、市内の工場による排出量
- 運輸・・・鉄道、貨物車、乗用車（自家用車を含む）の使用による排出量
- 民生・家庭・・・家庭の電気・ガス・灯油による排出量
- 民生・業務・・・民間施設（店舗など）、公共施設による排出量
- 廃棄物処理・・・家庭、事業の一般廃棄物処理による排出量